

授業科目	紛争管理論演習
演習題目	対話による合意形成と紛争解決
担当教員	入江秀晃
授業の目的	たとえば、その状況において、フェアであるとはどういうことか、人が人を支援する状況における倫理とは何かとか、社会にとって、あるいは個人にとって、簡単に答えが出ないが重要な様々な問題について考え、話し、聴き合うことを目的とします。また、いわゆるアクティブラーニングということになりますが、活動・実践を通じた関わりの中から、社会・集団・自分自身について学ぶこともゼミナール活動の中心的な目的と位置づけています。
履修条件	特にありませんが、モンモンとする力（悶々力）がある学生さんの参加を期待しています。
教科書・参考書	参加学生と相談の上決定します。 履修に当たっては、教員が書いた「調停技法誌上講義」( <a href="https://mediation-labo.jp/JCA_mediationskills.pdf">https://mediation-labo.jp/JCA_mediationskills.pdf</a> ) については、見ておいていただきたいです（読んでなくていい）。
授業の計画・内容	2023年度は、高校での出前ワークショップを企画・準備・実践です。 2024年度は未定ですが、参加者と相談の上決定します。たとえば、テーマを特定した分野研究・社会研究になるかもしれません。教員が強い関心を持っているのは、調停・ADR分野、離婚・面会交流などの家族問題と、ハラスメントなどの会社・組織の問題です。
成績評価の方法	授業への参加、貢献度によって評価します。